

日本語ボランティア入門講座 ～横浜で始めよう!日本語ボランティア～ 開催報告

【講座概要】

日本語学習支援を地域でともに暮らす外国につながる人との多文化共生のための活動と捉え、その考え方や方法を軸とした入門講座を開催しました。「日本語を教える」ことだけでなく暮らしと日本語について学びました。(ことばのなじみから、名称を「日本語ボランティア入門講座」としました。)

1 目的

- (1) 地域の日本語教室で活動する人の育成を通じて、多文化共生の地域作りを進める。
- (2) 支援者を募集する地域日本語教室と活動希望者をつなぐ。これを通じて、地域日本語教室との連携を進める。
- (3) 日本語ボランティアに対する研修プログラムを検討する。

2 日時 2022年8月19日・26日・9月2日・9日 金曜日13:30～15:30
9月16日 金曜日13:30～16:30 全5回

3 開催方法・会場

- ・オンライン開催(Zoom) 第1回・2回・5回
- ・対面開催(横浜国際協力センター6階共用会議室) 第3回・4回

4 参加者 17人(延べ60人)

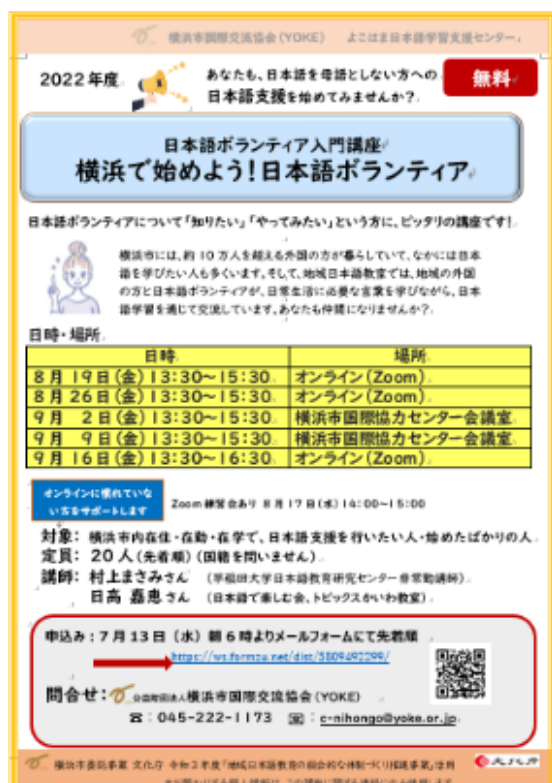
5 講師 村上まさみさん(早稲田大学日本語教育研究センター非常勤講師) 第1・2・4・5回
日高嘉恵さん(日本語で楽しむ会・トピックスかいわ教室) 第3回・第5回

6 協力者

- ・ファム ミーリンさん: ベトナム語体験講師 第1回
- ・齊藤静娟さん: ゲストスピーカー(日本語学習や日本での生活体験など) 第5回
- ・地域日本語教室(第5回交流会参加)8教室9人
あざみ野日本語クラス/港南国際交流ラウンジ日本語教室
互相学習会(日本大通り教室)/地球っ子教室/つるみ子ども日本語教室「ともだち」
日本語の会「21」/日本語広場/ほどがや国際交流ラウンジ木曜教室

回(実施日) 開催方法	テーマ	内容	参加人数
第1回 (8/19) オンライン	日本語ボランティアって何をする人?	・外国語学習体験(ベトナム語) ・横浜市の多文化共生の状況 ・ボランティアの心構え	17人
第2回 (8/26) オンライン	外国の人にとって、日本語ってどんなことば?	・私たちが使っている日本語を外国語としてみる。 ・「やさしい日本語」	11人
第3回 (9/2) 対面	日本語教室ってどんなところ?	・教室に来る学習者の多様性 ・地域日本語教室での活動例	10人
第4回 (9/9) 対面	日本語教室活動を体験してみよう。	・やさしい日本語に挑戦する。 ・地域の教室で学ぶ日本語をデザインする～おしゃべり活動のすすめ～	10人
第5回 (9/16) オンライン	【1部】次の一步をふみだそう! 【2部】地域日本語教室の皆さんと交流しよう!	・外国の方の、日本での生活や日本語学習の体験談 ・みなさんが、日本語ボランティアとしてやりたいこと、できること ・講座のまとめ ・地域日本語教室の皆さんと交流しよう! ・地域日本語教室・日本語ボランティアとの交流会	12人 *日本語ボランティア9人

【講座プログラム】



横浜市国際交流協会(YOKE) よこはま日本語学習支援センター

2022年度 **無料** あなたも、日本語を母語としない方への日本語支援を始めてみませんか?

日本語ボランティア入門講座
横浜で始めよう!日本語ボランティア

日本語ボランティアについて「知りたい」「やってみたい」という方に、ピッタリの講座です!

横浜市には、約10万人を超える外国の方が暮らしていて、なかには日本語を学びたい人も多くいます。そして、地域日本語教室では、地域の外国の方と日本語ボランティアが、日常生活に必要な言葉を学びながら、日本語学習を通じて交流しています。あなたも仲間になりませんか?

日時・場所	日時	場所
	8月19日(金) 13:30~15:30	オンライン(Zoom)
	8月26日(金) 13:30~15:30	オンライン(Zoom)
	9月2日(金) 13:30~15:30	横浜市国際協力センター会議室
	9月9日(金) 13:30~15:30	横浜市国際協力センター会議室
	9月16日(金) 13:30~16:30	オンライン(Zoom)

オンラインに慣れていない方をサポートします Zoom練習会あり 8月17日(木) 14:00~15:00

対象: 横浜市内在住・在勤・在学中、日本語支援を行いたい人・始めたばかりの人
 定員: 20人(先着順)(回数を問いません)
 講師: 村上まきみさん (早稲田大学日本語教育研究センター非常勤講師)
 日高 嘉恵さん (日本語で楽しむ会、トピックスかいわ教室)

申込み: 7月13日(水) 朝6時よりメールフォームにて先着順
<https://vt.yokohama.net/dto/3509497209/>

問合せ: 公益財団法人横浜市国際交流協会(YOKE)
 電話: 045-222-1173 メール: e-nihongo@yoke.or.jp

【講座の特徴】

★特徴1

日本語ボランティアを「日本語を教える人」と捉えるのではなく、多文化共生の視点から地域で共に暮らす外国につながる人の「日本語の学び」を支える仲間と考えます。

★特徴2

地域日本語教室ですでに活動しているボランティアと交流する機会を作り、具体的な活動の内容や学習者の様子などを聞くことで、地域日本語教室活動にスムーズに入れるようにします。

第1回 日本語ボランティアって何をする人?

- ◆多文化共生の講義を聞き日本語ボランティアについて考えました。 講師:村上まさみさん
- ◆日本語学習者の気持ちを知るためにベトナム語を体験しました。 協力者:ファム ミーリンさん

横浜市内の多文化共生の状況

- 日本に住む外国人の数と多様性、またその推移など。
- 横浜市内に住む外国人について、区別の外国人人口や属性。
横浜市の地域性。
- 地域の外国人支援は、国際交流ラウンジ、区がその拠点となっている。

横浜市には様々な外国につながる人が暮らしていることを知り、その人たちを支える国際交流ラウンジの存在、役割についても学びました。

ボランティアの心構え

日本語教室の役割

- 日本語ボランティアは先生ではなく…友人として 日本語を学ぶ…キーワードは「生活」
- みんなが行くことが楽しみになる場所を作る活動。生きがい、やりがい、いがい(意外)に出会う活動。

日本語ボランティアの心構えや日本語教室の役割について考えました。日本語学習者もボランティアも楽しんで通える場所、そんな教室をイメージすることができました。

外国語体験 (ベトナム語)



知らないことばを聞いたり話したりする時の気持ちを体験しました。みなさん、知らないことばを聞いた時にはパニックになったり、ドキドキしたという感想でした。

第2回 外国人にとって、日本語ってどんなことば?

講師:村上まさみさん

- ◆日本語の特徴・やさしい日本語についての講義を受け、ふだん使っている日本語を見直しました。

日本語の特徴

単語の多さ/文字の種類/音の数/語順のルール/待遇表現/<ウチ ソト>の概念/文のスタイルの種類

受講者のみなさんは、普段使っている日本語を改めて外国語として見直し、外国の人が学ぶ難しさを理解することができました。

やさしい日本語

講師からやさしい日本語ができた経緯の説明がありました。やさしい日本語ということばを初めて聞いた受講者の人もいました。伝えること、人とつながるためにやさしい日本語があることを知り、第4回目の講座では、やさしい日本語に言い換える練習をしたり、受講者同士でやさしい日本語を使って対話をしてみました。

第3回 日本語教室ってどんなところ?

講師:日高嘉恵さん

◆地域日本語教室の様子、活動例を講師から聞き、受講者は実際に活動例を実践してみました。


さまざまな学習者

学習者を見る

活動例の実践を行いました。

平日 昼	主婦 主夫 夜働いている人	日常会話 ママ友との会話 学校の先生との会話 買い物 病院
夜 日曜日	仕事をしている人 事務職	日常会話 上司・同僚との会話 仕事のメール 接客 面接

=自分の宝物の絵を書いて、グループで話をしました=




話をひろげる工夫

Can do

学習者見る

素材の活用



レアリア

自分の宝物を絵に書いて、それは何か、どうして宝物なのかをやさしい日本語で話しました。この活動によって、お互いのことを少し知るきっかけとなりました。

第4回 日本語教室活動を体験してみよう

講師:村上まさみさん

◆やさしい日本語にチャレンジ! そのあとで対話による教室活動を実際に行いました。

やさしい日本語に言い換える練習をしました。

外国のかたがむずかしいと思うところはどこ?
 ○おむかしたら、この くすりを のんでください。
 ○そのお洋服、お似合いですね。
 ○ワクチンを うって もらうことが できる ばしょを さがす。

実際にやさしい日本語での対話活動をしてみました。

毎日の生活に役立つ動詞を選んで、どんなテーマで話をするかを考え、実際にペアになって行ってみました。
 やさしい日本語で、テーマに沿って話をするのは難しかったという声もありました。

皆さんが話したテーマ:「日常生活」「お互いを知る」「休みの日のこと」「テレビ」

4

第5回【1部】次の一步をふみだそう!

講師:村上まさみさん・日高嘉恵さん

協力者:齊藤静娟さん(台湾出身)

◆日本語学習経験者の方をゲストに迎え、日本語教室や日本での生活経験を聞きました。

＝齊藤さんのお話から＝



- ・日本語教室では様々な国の人と一緒に勉強をしました。日本語でお茶を飲みながら交流しました。一緒に勉強する仲間がいて楽しかったです。
- ・家にいる時は不安だったので、日本語で何と言うかをメモしておきました。(宅配便、セールスなど)
- ・テキストで勉強していると、生活の言葉が足りないので、自分でも言葉を調べました。(天気予報のことばや待ち合わせをするときのことばなど。)

<講座のまとめ>

◆これからボランティアをするにあたっての疑問点などを出し合い、2部の交流会へとつなげました。

- ・英語以外のことばを話す人がたらどうしますか?説明は何語でしますか?
- ・学習者との相性はありますか。ちょっと不安です。
- ・決まった時間に、毎回参加しないとボランティアはできませんか?
- ・自由に教えるということは、自分でカリキュラムを考えるのでしょうか?
- ・日本語教室では、運営も自分たちですものなのですか?

講師より皆さんがボランティアを始めるにあたり、心強いメッセージをいただきました。

- 一、まず、仲間づくり
- 一、ボランティアは楽しめます
- 一、「教え方の勉強」より、話す工夫と振り返り
- 一、振り返りしても、反省はしません
- 一、まよったら仲間に相談!



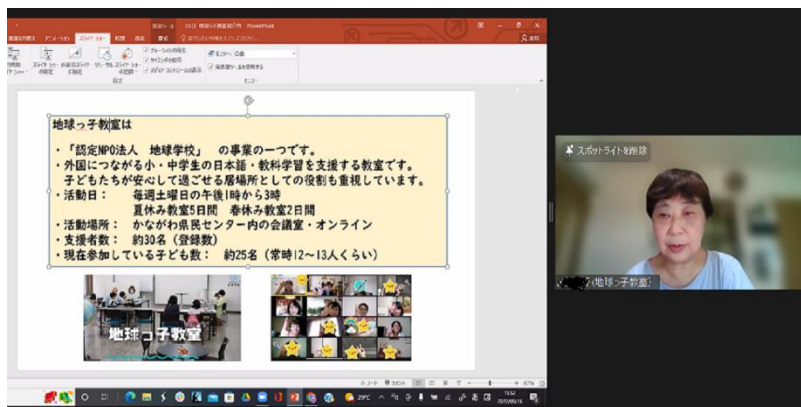
【2部】地域日本語教室の皆さんと交流しよう

「地域日本語教室との交流会」

横浜市内の8地域日本語教室9人のボランティアが加わりました。

地域日本語教室紹介の紹介

それぞれの教室の活動形態や、特徴を説明してもらいました。日本語教室だけでなく、子どもの学習支援を行っている教室の説明もあり、受講者の皆さんは、様々な教室があることを知ることができました。



教室の説明を聞いた後、地域日本語教室のボランティアの方と小グループに分かれて交流しました。

日本語教室の方々との交流タイム

ブレイクアウト 1
私はボランティアクラスでこんなことがしてみたい!

ブレイクアウト 2
興味のあるルームを訪ねてみよう

Room1 にほんご広場・日本語21
Room2 ともだち 地球っ子教室
Room3 港南ラウンジ
Room4 ほだごやラウンジ
Room5 互相学習会・あざみ野日本語クラス

受講者 ボランティア

・活動中のボランティアの話聞いて、日本語教室の具体的な活動のイメージを持つことができました。

・関心がある教室の方と活動内容や活動日を聞いて、見学に行った方もいました。

日本語ボランティアと一緒に記念撮影 🎵

==受講者の皆さんの講座終了後の感想より(抜粋)==



・学びたい人の必要なことや学びたいことに、仲間として寄り添うことが大事なのだと思います。

・日本語ボランティアとは、外国につながる方に言葉を教えるのではなく、地域の仲間として触れ合うことなのだと感じました。

・地域の日本語教室の働きと、そこでのボランティアの役割をできたこと、実際の日本語教室の様子を知ることができたことなど、勉強になりました。